

日本語能力試験 合格者と専門家の評価による レベル別Can-doリスト
－わたしが日本語でできること－

本表はレベル別・技能別Can-do statements(以下 Can-do)を得ることを目指して、「日本語能力試験Can-do 自己評価調査レポート《最終報告》」(2012)と同じCan-do、同じ調査協力者(64,842人)データを対象に、合格者と専門家の評価により再分析を行ったものです。今回改訂において、主に以下の基準によりCan-doの採択および割り当てを行いました。採択及び割り当ては原則、以下の通りの手順で行いました。

- ① 各レベルごとに合格者の75% 以上が3.何とかできる、4.できると自己評価したCan-do を割り当てました。複数レベルが該当する場合は最も下のレベルに割り当てました。この「合格者データによる判定」がレベル割当の基本となります。
- ② 複数の日本語教育専門家の主観による判定を行いました。
- ③ ①の合格者データによる割当レベルと②の専門家の主観による割当レベルが一致した場合に、当該レベルのCan-do として採用しました。

上記手順で割り当てを行った上、各レベル・各技能 1～3項目を採用しました。

※各Can-do は上記手順で割り当てられたものであり、学習到達目標や試験内容を表すものではなく、また各レベル合格者が日本語でできることを保証するものではありません。

	(参考) 認定の目安	聞く	読む	話す	書く
N1	<p>幅広い場面で使われる日本語を理解することができる</p> <p>【読む】幅広い話題について書かれた、新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 【聞く】幅広い場面において、自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりなじみのない話題の会話でも話の要点が理解できる。 ・社会問題を扱ったテレビのドキュメンタリー番組を見て、話の要点が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論説記事(例:新聞の社説など)を読んで、主張・意見や論理展開が理解できる。 ・政治、経済などについての新聞や雑誌の記事を読んで、要点が理解できる。 ・人物の心理や話の展開を理解しながら、小説を読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心ある話題の議論や討論に参加して、意見を論理的に述べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の関心のある分野のレポートを書くことができる。 ・複数の情報や意見を自分のことばでまとめて、文章を書くことができる。
N2	<p>日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。 【聞く】日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や職場の会議で、話の流れが理解できる。 ・思いがけない出来事(例:事故など)についてのアナウンスを聞いてほしい理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事や関心のある分野の報告書・レポートを読んで、だいたいの内容が理解できる。 ・身近で日常的な話題についての新聞や雑誌の記事を読んで、内容が理解できる。 ・敬語が使われている正式な手紙やメールの内容が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近見た映画や読んだ本のだいたいのストーリーを紹介することができる。 ・クラスのディスカッションで、相手の意見に賛成か反対かを理由とともに述べるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理由を述べながら、自分の意見を書くことができる。 ・最近読んだ本や見た映画のだいたいのストーリーを書くことができる。 ・学校、ホテル、店などに問い合わせの手紙やメールを書くことができる。
N3	<p>日常的な場面で使われる日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】日常的话题について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。 新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 日常的な場面で目にする範囲の難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。 【聞く】日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を、登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメや若者向け映画のような単純なストーリーのテレビドラマや映画を見て、だいたいの内容が理解できる。 ・会話を聞いて、敬語やゆだねた言葉を使っていることが理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い物語を読んで、だいたいのストーリーが理解できる ・図鑑などの絵や写真のついた短い説明を読んで、必要な情報がとれる。 ・商品のパンフレットを見て、知りたいことがわかる。(例:商品の特徴など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備をしていれば、自分の送別会などフォーマルな場で短いスピーチをすることができる。 ・店で買いたいものについて質問したり、希望や条件を説明したりすることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・知人に、感謝や謝罪を伝える手紙やメールを書くことができる。
N4	<p>基本的な日本語を、理解することができる</p> <p>【読む】基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 【聞く】日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近で日常的な話題(例:趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がほしい理解できる。 ・簡単な道順や乗り換えについての説明を聞いて、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知人や友人から来たはがきやメールを読んで、理解できる。 ・学校、職場などの掲示板を見て、必要な情報(例:講義や会議のスケジュールなど)がとれる。 ・新聞の広告やチラシを見て、安売り期間や値段などがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・驚き、嬉しさなどの自分の気持ちと、その理由を簡単なことばで説明することができる。 ・身近で日常的な話題(例:趣味、週末の予定)について会話ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友人や同僚に日常の用件を伝える簡単なメモを書くことができる。 ・友人に、依頼や誘いの簡単な手紙やメールを書くことができる。
N5	<p>基本的な日本語を、ある程度理解することができる</p> <p>【読む】ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで理解することができる。 【聞く】教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。 ・先生からのお知らせを聞いて、集合時間、場所などがわかる。 ・店、郵便局、駅などで、よく使う言葉(例:「いらっしゃいませ」「〇〇円です」「こちらへどうぞ」)を聞いて、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年賀状や誕生日のカードを読んで、理解できる。 ・学校などで面談の予定表を見て、自分の面談の曜日と時間がわかる。 ・駅の時刻表や案内板を見て、自分が乗る電車の時間がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的なあいさつと、その後の短いやりとりができる(例:「いい天気ですね」など) ・店、郵便局、駅などで、よく使われることば(例:「いくらですか」「〇〇をください」)を使って、簡単なやりとりができる。 ・自己紹介をしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介の文を書くことができる。 ・書類に、名前や国名などを書くことができる。 ・誕生日のカードや短いお礼のカードを書くことができる。